

第3回 中プロ・デザインラボ

皆で描く、
千葉駅東口エリア・中央公園プロムナード
の将来イメージを考える！

令和7年8月26日(火)

本日の流れ

1. グランドデザイン改定・ビジョン策定の狙い、作成の進め方
2. 第2回中プロ・デザインラボ、まち歩きの結果報告
3. 地域の現況調査・まちあるき(居心地調査)から見えるポイント
4. 意見交換(グループワーク)①
:各参加者が描く、「ひと中心のまちなか形成」への期待の抽出と
将来イメージ(将来ありたい姿)の抽出
5. 意見交換(グループワーク)②
:周辺エリアとの結びつき等も含め考える、中央公園プロムナードの利用シーンの抽出
6. 各班の成果発表・総評

1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、 作成の進め方

1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

■今年度の中プロ・デザインラボの目標

①グランドデザイン改定に向けた、「東エリア」のまちづくりの方向性等の検討

②中央公園プロムナード及びその周辺を対象とした、
まちづくりビジョン策定に向けた意見交換・検討

③中央公園プロムナード及びその周辺で目指す、
「ひと中心の再編の取組」の具体化



①～③を第3回(本日)～第7回(計5回)で検討し、

グランドデザイン改定(素案)及びまちづくりビジョン(素案)を作成

1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

■グランドデザイン策定の主旨

①平成28年3月に策定

- JR千葉駅の駅舎・駅ビルの建替え、西口や東口で実施・計画されている再開発事業など、駅周辺でリニューアルの動きが出てきていることから、これを契機と捉え、まち全体のリニューアルによって魅力を高めていく必要がある。
- そのためには、千葉都心全体の将来像や取組みの方向性を明確化する必要があるとして「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を策定した。

< 50年先の未来をイメージして概ね20年後の将来像 >

②令和2年12月に一部改定

- 令和2年度には、当初策定以降、千葉都心の各所において民間によるリニューアルの動きが活発化したことを受け、一部改定を実施。

※駅周辺共通の方針として、

【ウォーカブル推進による「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出】の追加など

1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

■グランドデザイン策定の主旨

③ウォーカブル推進による「居心地が良く歩きたくなる」空間とは



車が主役であった道路空間を、
ひと中心の空間に再編

人々のまちなかでの滞在・回遊を促し、
豊かな生活の実現、交流による
新たなつながり形成、にぎわい創出

取組み推進による地域の価値向上
(例: 地域商店の売上げ増加、
地価の向上、交流人口の増加 等)



1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

JR千葉駅周辺は主にJR線によって物理的に3つのエリアに分断されているため、千葉都心全体の方向性のほか、東、西、北の3つのエリアごとに、特色等を踏まえた方向性を整理。

千葉駅周辺の全体の方向性



- 千葉県内での求心力のあるまち
- 働く人、学ぶ人、住む人、観光客など、多様な人々が集まり賑わうまち
- エリア間における機能分担・連携による多様な魅力のあるまち

北エリア

公園や文化施設を
活かしたまちづくり

駅周辺共通

多様な魅力ある
まちづくり

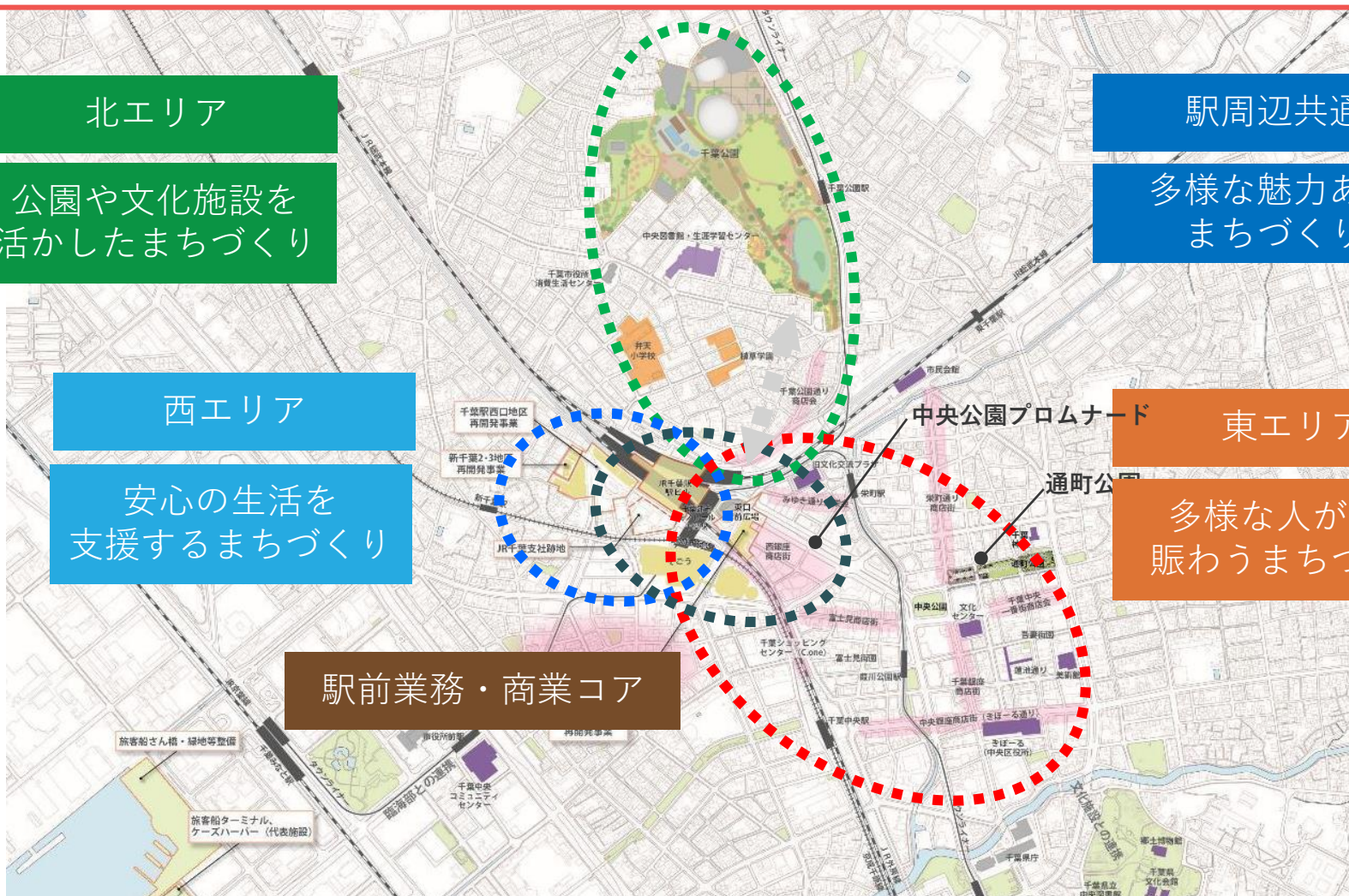
西エリア

安心の生活を
支援するまちづくり

東エリア

多様な人が集い
賑わうまちづくり

駅前業務・商業コア



1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

■今回のグランドデザイン改定の背景

○グランドデザイン策定後の千葉駅周辺のまちづくりの進捗

- 千葉公園関連整備及び、中央公園・通町公園の連結強化が進捗し、**次のステップへと進める段階**となった。
- 千葉公園通りでは歩行者天国「ちこほこ」、中央公園プロムナードでは「パラソルギャラリー」や「CHIBA SDGs Parklet Project」、「ちば富士見屋台横丁」などの取り組みが行われ、道路空間を活用した「ひと中心」の**ウォーカブルなまちづくりに対する機運**が高まっている。

パラソルギャラリー



CHIBA SDGs Parklet Project



ちば富士見屋台横丁



1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

■千葉駅東エリアではどんなビジョン・目標を描き、
取組を進めていくべきか？



まちづくりビジョン

まちづくりビジョン（構成案）

0 1 中央公園プロムナード及び周辺エリアの特性・課題

- ・地域の現況調査を踏まえて、エリアの特徴を分析
- ・エリアの現況を踏まえて、将来像の実現に向けたギャップ

0 2 目指す将来像

- ・中央公園プロムナード沿道及びその周辺エリアが目指す将来像

0 3 取組方針

- ・将来像の実現に向けて、どんな取組をしていくべきか。
- ・持続可能性の観点から必要なマネジメント

0 4 実現手法

- ・取組方針の具体化（実施内容）
- ・将来像の実現性の検証方法（KPIの設定）

0 5 推進体制・ロードマップ

- ・ビジョン実現に向けた推進体制とどう実現していくか
- ・デジタルツールを活用したコミュニティプラットフォームの運用等

他自治体例



定禅寺通りエリアまちづくりビジョン ／仙台市（定禅寺通活性化検討会）

前橋市アーバンデザイン



前橋市アーバンデザイン／前橋市

1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

市・コンサルによる検討作業

中プロ・デザインラボでの意見交換

まちづくりビジョン（構成案）

結果反映

01 中央公園プロムナード及び周辺エリアの特性・課題

- ・地域の現況調査を踏まえて、エリアの特徴を分析
- ・エリアの現況を踏まえて、将来像の実現に向けたギャップ

第3回（本日）：説明・意見交換

02 目指す将来像

- ・中央公園プロムナード沿道及びその周辺エリアが目指す将来像

第3回（本日）：意見交換

03 取組方針

- ・将来像の実現に向けて、どんな取組をしていくべきか。
- ・持続可能性の観点から必要なマネジメント

04 実現手法

- ・取組方針の具体化（実施内容）
- ・将来像の実現性の検証方法（KPIの設定）

第4～6回：意見交換テーマ

05 推進体制・ロードマップ

- ・ビジョン実現に向けた推進体制といつ実現していくか
- ・デジタルツールを活用したコミュニティプラットフォームの運用等

1. グランドデザイン改定・ビジョンの狙い、作成の進め方

■千葉駅東エリアではどんなビジョン・目標を描き、
取組を進めていくべきか？



まちづくりビジョン



グランドデザインに反映

2. 第2回中プロ・デザインラボ、 まち歩きの成果報告

※別紙参照

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査） から見えるポイント

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ 「ウォーカブルなまちづくり」による地域への経済効果：地価の向上 愛媛県松山市(花園町通り)

～歩行空間の拡大・沿道と一体となったデザイン整備により、街路空間をウォーカブルな空間へと再構築～

片側3車線あった道路を片側1車線に減らし、歩行空間を拡大するとともに、沿道と統一的なデザイン整備を行うことで、街路空間を「居心地がよく歩きたくなる」ウォーカブルな空間へと再構築



整備前



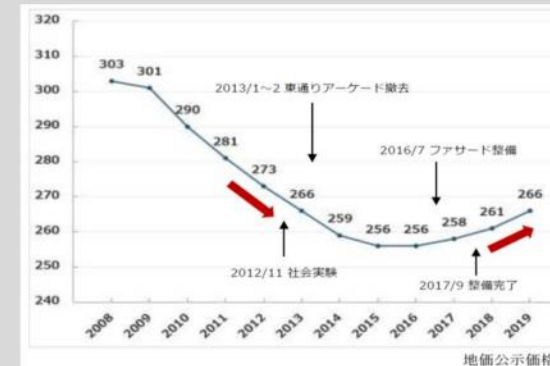
整備後



歩行者数の変化



地価の変化



3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ 「ウォーカブルなまちづくり」による地域への経済効果：地価の向上 兵庫県姫路市(大手前通り)

～車道中心だった駅前をトランジットモール化するとともに、ゆとりある歩行者空間に再整備～

車道中心だった駅前とそれに続く大手前通りの一部について、トランジットモール化するとともに、大手前通りの沿道事業者等が中心となり、くつろぎの場の提供やにぎわいづくりに向けた社会実験を実施。



トランジットモール化



くつろぎの場の提供やにぎわいづくりに向けた社会実験

駅周辺の商業地 地価公示価格

○ 120万円/㎡ (H30)
⇒ **150万円/㎡** (H31)
※変動率: **25%上昇**
(地方圏商業地で全国7位)

※ H31 地価公示 鑑定評価員のコメント等
姫路駅周辺では、駅前広場や歩道などが整備され利便性が向上し、姫路城を中心とした観光による賑わいの高まりもあいまって、店舗・ホテル等の需要が強く、地価が上昇している。

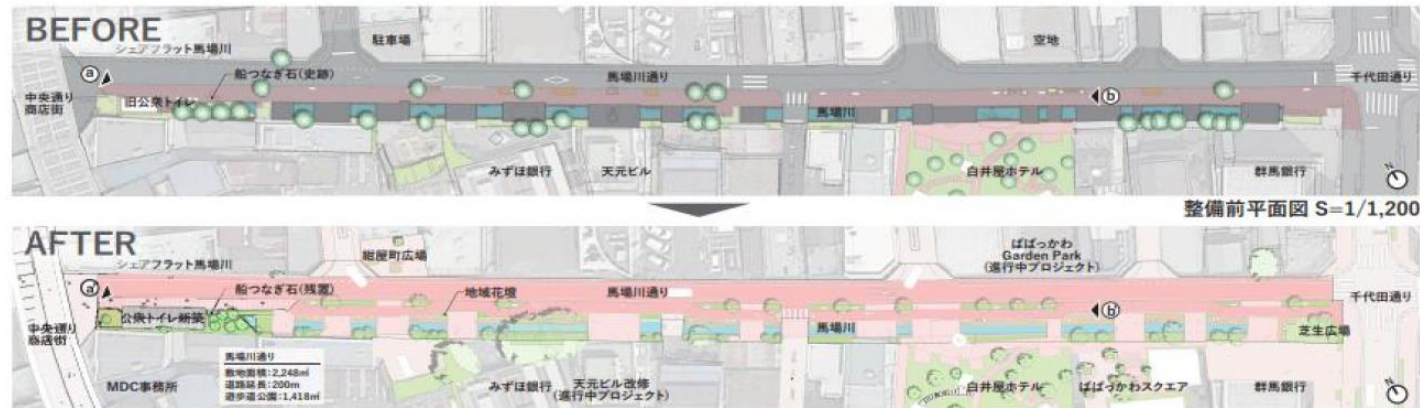
駅周辺の商業床面積

○ 約83ha (H20)
⇒ **約85ha** (H25)

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ウォーカブルなまちづくりにおける地域への経済効果

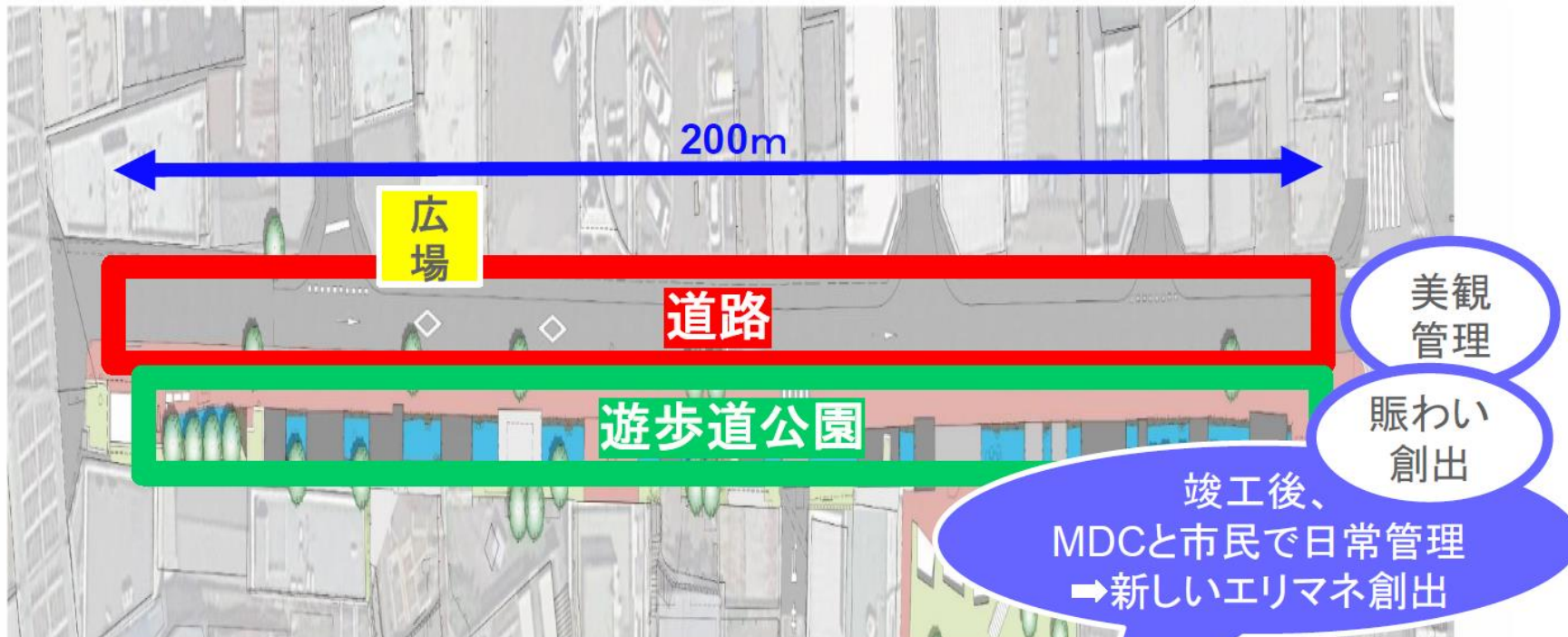
群馬県前橋市馬場川（中期・長期目標：歩行者通行量の増加&地価の向上）



3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ウォーカブルなまちづくりにおける地域への経済効果

群馬県前橋市馬場川（中期・長期目標：歩行者通行量の増加&地価の向上）



➤ 都市再生特別措置法都市利便増進協定による公共空間・民間空間整備

国交省・民都機構共助推進ファンド＋民間寄付

➤ 計画策定・地域合意形成・エリマネジメント創出

国交省ウォーカブル事業＋民間寄付

➤ 勉強会・社会実験

SIB事業（内閣府・国交省支援）

市が中長期管理を担う
官民連携

総額4.3億円
公共空間を民間で
街路整備と10年間のエリマネジメントを行う

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ウォーカブルなまちづくりにおける地域への経済効果

群馬県前橋市馬場川（中期・長期目標：歩行者通行量の増加&地価の向上）

- ・直接アウトカム：民間投資の誘発（緑、リノベーション店舗、新規店舗）
- ・中期アウトカム：エリア内通行量の増加
- ・最終アウトカム：前橋市の中心市街地（本町2丁目）が32年ぶりに路線価上昇（前年比3.8%増）

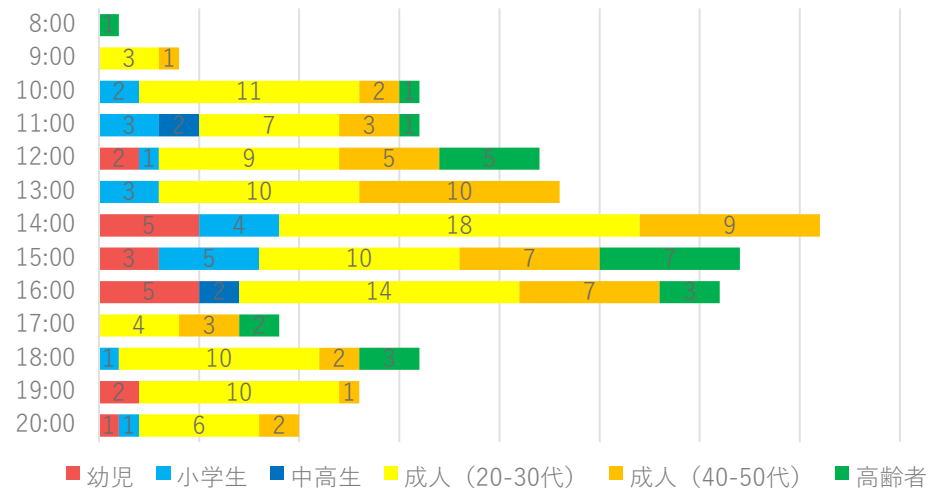
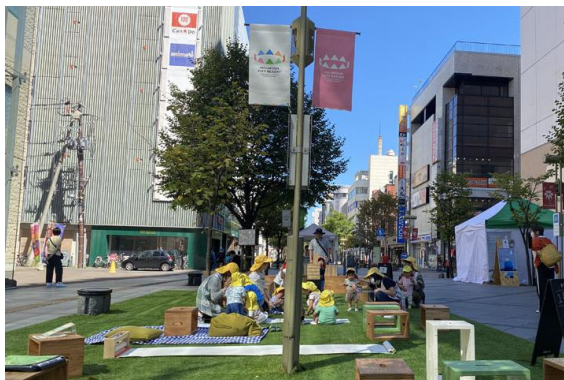
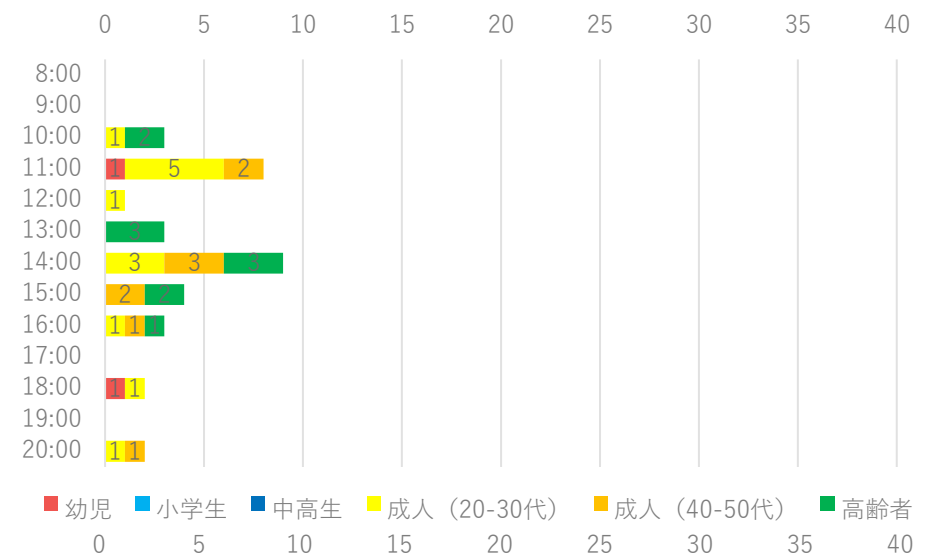


3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ウォーカブルなまちづくりにおける地域への経済効果：滞在者の増加

<旭川市・平和通買物公園(業務受託者実績)>

- ・平和通買物公園(中心市街地の歩行者専用道路)にて、社会実験を通じた滞在空間を1か月間設置
→ストリートの滞在者が大幅に増加し、買物公園が来街者の日常的な空間に



3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■ウォーカブルなまちづくりにおける地域への経済効果：商店の顧客獲得

<旭川市・平和通買物公園(業務受託者実績)>

- ・社会実験で設置した滞在空間と併せた出店エリア(バスキングエリア)を1か月間設置
→沿道事業者のストリートでの出店を通じて、新規顧客の獲得・周辺店舗への誘導の効果



ストリートでの出店を通じて、その後の新規顧客の獲得
(出店後ヒアリング調査より)



退勤したサラリーマンが滞在空間の軽く飲みに来訪し、
その後近くの飲食店での見直し

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

■現在のグランドデザインで掲げられる課題

商業 商業環境の競争激化と商業環境の求心力低下

→千葉商圈の維持による商圈人口の確保

■グランドデザイン改訂版および
まちづくりビジョンで掲げる課題 等

中央公園プロムナード沿道や、周辺商店街では、どんな取組が必要か？

観光 市や駅周辺の施設を訪れる観光客の減少とインバウンドの強化

→駅周辺の観光施設と連携した観光客の誘致
→県の玄関口としてのアンテナ機能の発揮
→外国人が楽しめる買物機能の強化と環境整備

・来訪者はどんなターゲット設定をするか？
・来訪者にどんな過ごし方をさせるか？

人口 千葉市の総人口の将来的な減少と情報発信力の高い若年層の将来的な減少

→生活支援機能の整備による都心居住促進
→公園や文教施設などを活かした住み心地の良い環境づくり

・周辺住民の居住傾向を踏まえるとどんなまちづくりを進めていくべきか？
・既存の施設・資源を生かしていく方策は？

今後の中央プロ・デザインラボでの意見交換等を通じて、皆さまとともに決めていきます

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

<世帯・人口>

- ・千葉駅東口エリアの居住者は、**20～50代が主な層**であり、その世代の転出入の繰り返しにより構成されている
- ※数値はR2年度時点が最新であり、今後Brillia Tower 千葉の建設等による変動が想定される

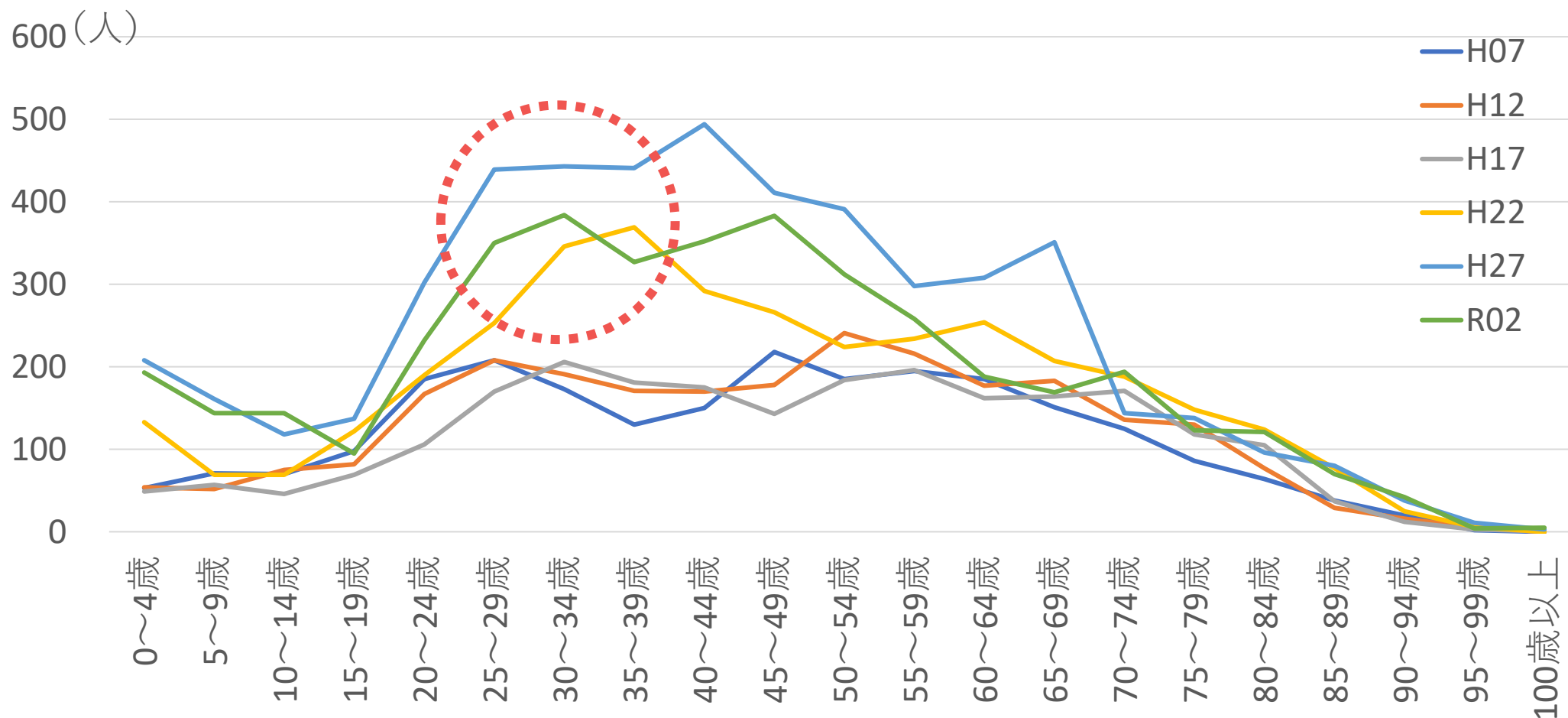


図 千葉駅東口エリアの年代別居住者推移
(中央区栄町、院内1丁目、富士見1～2丁目、本千葉町、中央1～4丁目)

出典：国勢調査を基に作成

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

<世帯・人口>

- 人口動態として、出生数に対して死亡数が多く自然減がみられる一方、転出数に対して転入数が多く**社会増**となっている。令和5年時点では、社会増の影響で市の人口は微増傾向にあるが、近い将来に自然減が社会増を上回り、人口減少に転じることが想定される

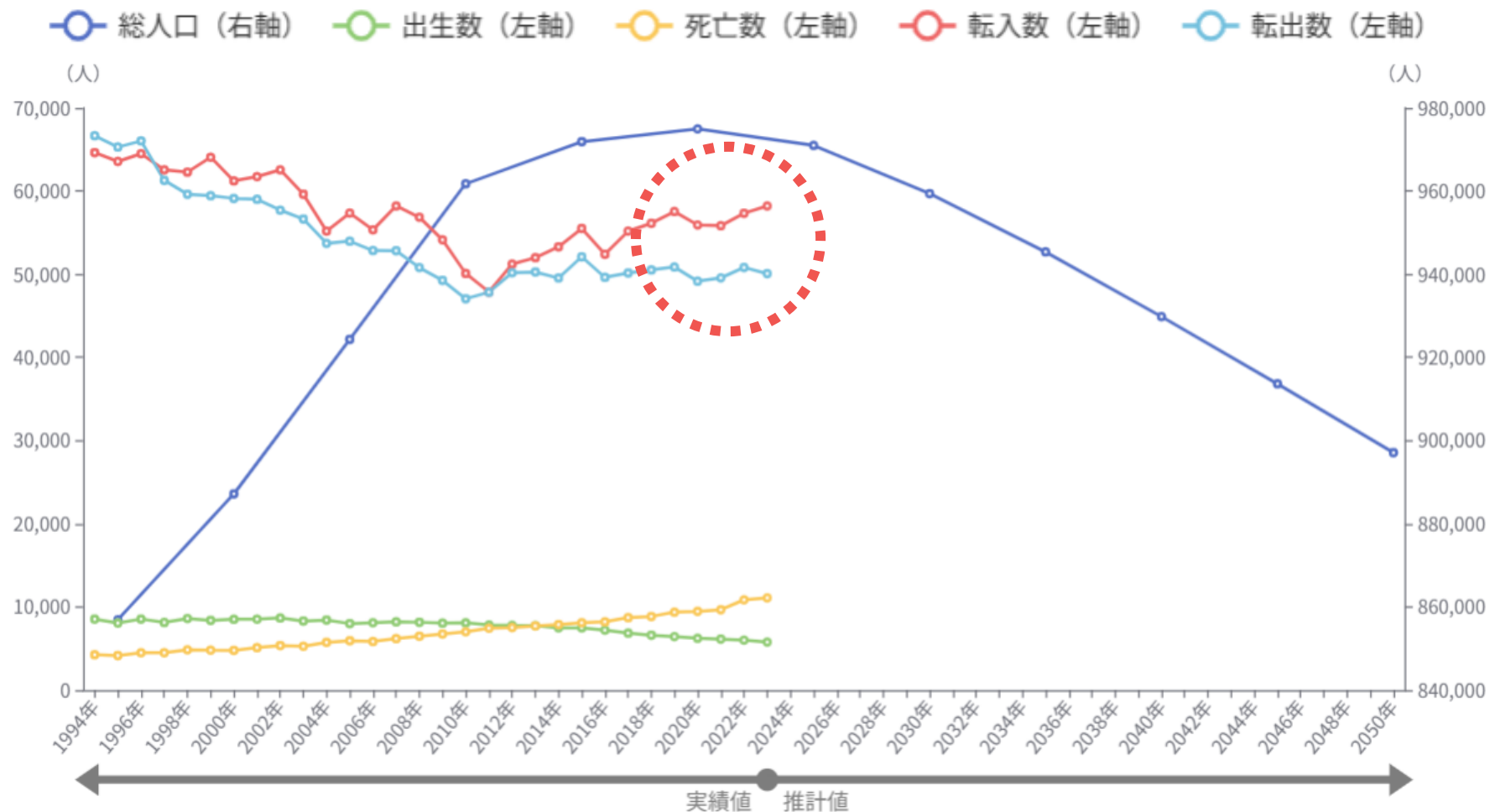


図 千葉市の人口動態

出典：RESAS

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

<経済>

- ・千葉市においては、**地域経済循環率が8割代**と一定の費用が他市へと流出されており、市として循環率を高めていくことが求められる
- ・2010年から2018年にかけて、循環率の数値は悪化している

地域経済循環率
87.4%

所得への分配
32,063



所得からの支出
36,670

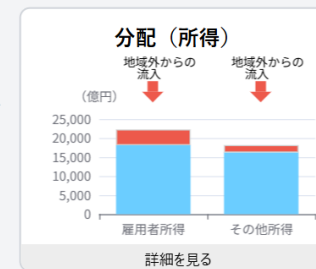


支出による
生産への還流
32,063

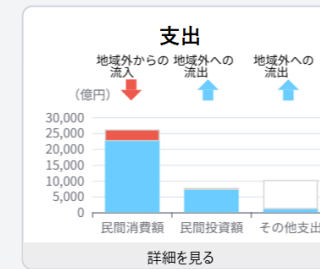


地域経済循環率
85.0%

所得への分配
34,352



所得からの支出
40,408



支出による
生産への還流
34,352



図 2010年千葉市地域経済循環図 出典：RESAS

図 2018年千葉市地域経済循環図 出典：RESAS

※地域経済循環図とは、地域における「生産」「分配」「支出」の各段階のお金の額と、お金の流出・入量を図化したもの

（100%を超えると他市からお金が流入しており、100%を下回ると他市へお金が流出している状態） 23

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

<経済>

- ・千葉市の経済成長率はコロナ禍以前は1～2ポイント代で推移しており、コロナ禍に減少したものの、令和3年には、**もとの水準にもどりつつ**ある。（コロナ禍までのデータでことに留意）
- ・千葉市内総生産の推移をみると、物価上昇率を除いた実質生産額は微増傾向にあるが、ほぼ横ばいである。

図 千葉市経済成長率
出典：千葉市経済計算書

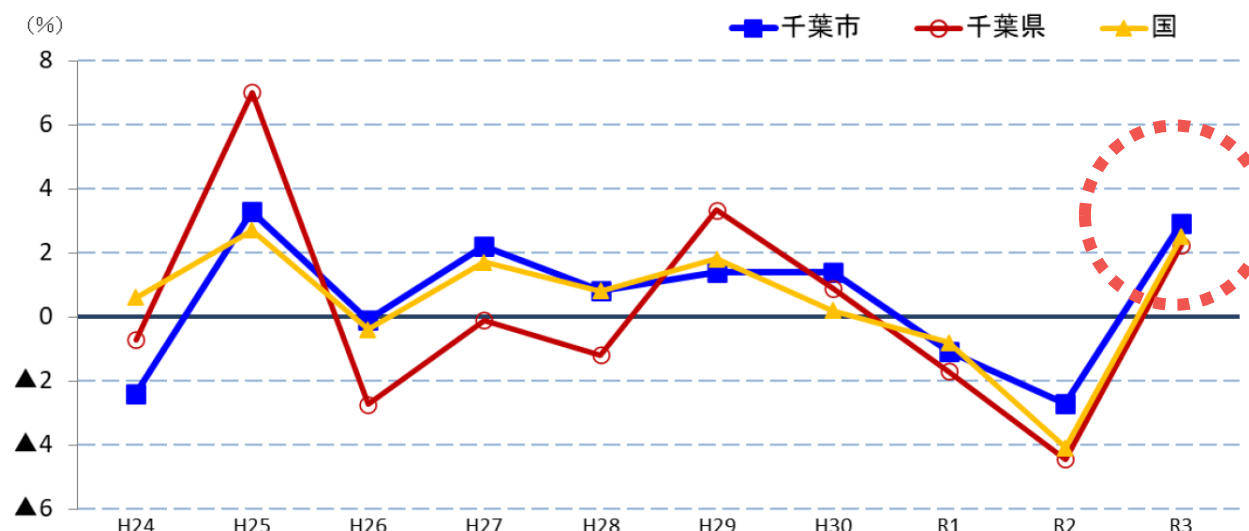
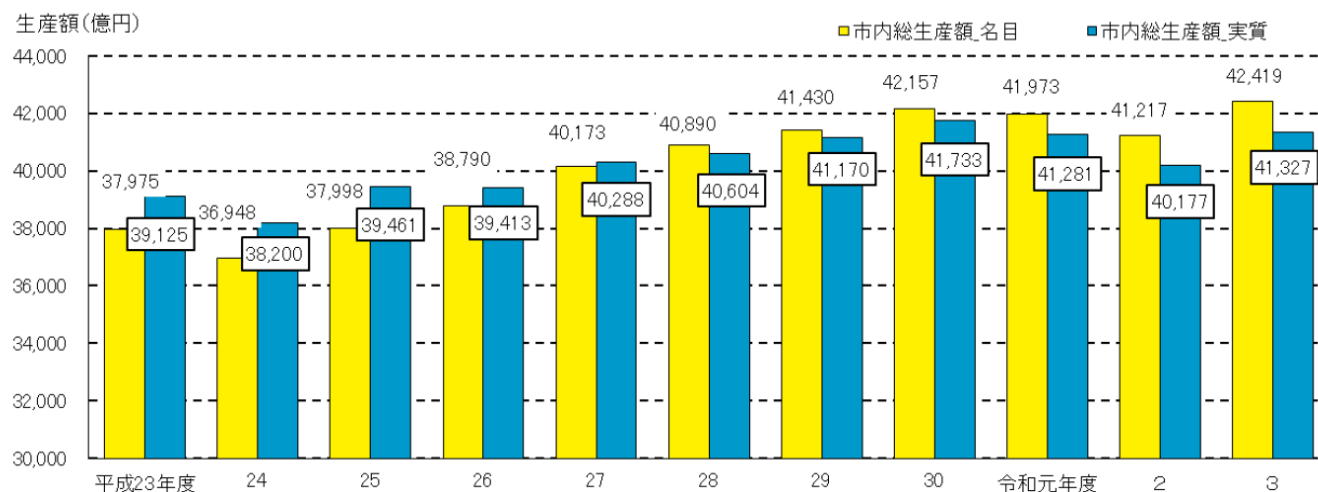


図 千葉市内総生産の推移
出典：千葉市経済計算書



3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

【調査目的】

本調査を通じて、街歩き参加者と、居心地がよく歩きたくなる空間がどんな空間なのかの認識を共有するとともに、中央公園プロムナードおよびその周辺における各調査地点の居心地の良さを可視化する

【調査日時】

7月13日(日) 8:30～11:30(気温:26～29℃)

【調査内容】

右図に示す計4か所コースを対象に調査を実施
4班(A・B・C・Dコース):各班4～8名 計(8～16名)で実施

【調査・意見交換会の様子(写真)】

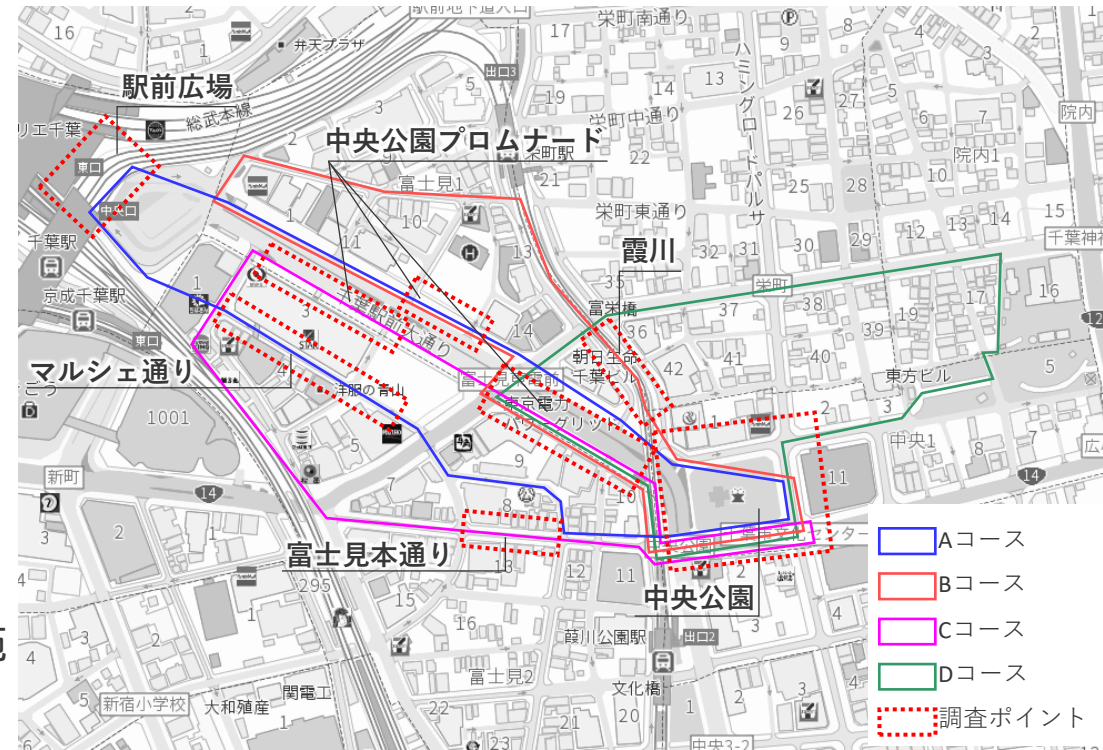


調査の様子



意見交換会の様子

○まち歩きルートと調査箇所



3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

【調査指標の概要】

安心感

不快感を感じず滞在・活動ができる状態であるかの評価

- 居心地の良さの最低レベルを満たせる空間の評価
- 評価が低いと人を遠ざける要因となる

<調査項目>

- ・赤ちゃん／子どもを連れてこれる
- ・ゴミが片付けられている
- ・立ち止まって会話している

安らぎ感

安らぎを感じ、その場所に留まろうとする状態であるかの評価

- ゆっくりとくつろげることができ、滞在時間が増加しやすい空間
- リフレッシュしにわざわざ行く人もいれば、ちょっと休憩したいときにふらっと訪れるような人もいような空間

<調査項目>

- ・ぼーっとしている人がいる／ぼーっとできる
- ・くつろいでいる人がいる／くつろげる
- ・景色を楽しめる

寛容性

違和感や疎外感なく滞在・活動ができる状態であるかの評価

- 滞在・訪問の間口を広げ、多様な人々が集まりやすい空間(子ども～お年寄り、オフィスワーカー、外国人など様々な人を受け入れる)

<調査項目>

- ・気軽に通れる・滞在できる
- ・多様な人がいる／好きな活動ができる
- ・ゆっくり歩いている人がいる／ジョギングしている人がいる

期待感

非日常的な活動への期待・喜びを創出する状態であるかの評価

- その場で行われる活動、他者との交流に対して期待感を持ち、積極的に行きたいと感じ、目的地となりうる可能性がある

<調査項目>

- ・笑いながら話している人がいる／誰かと来たい
- ・沿道で買い物をしている／買い物をしたい
- ・食べ歩きをしている／食べ歩きをしたい

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

<中央公園プロムナード及び周辺の居心地調査>

・通行者数・滞在者数ともに多くみられた千葉駅東口駅前広場、ベンチ等の滞留場所が設置されている中プロ（NTT前）や、中央公園において、他と比較してスコアが高い結果となった。

指標		A班		B班		C班		D班	
		千葉駅東口駅前広場	マルシェ通り	中プロNTT前	葭川	中プロ塚本ビル前	富士見本通り	中央公園	中プロ国道南側
活動※1	安心感	2.2点	2.1点	1.9点	1.7点	1.6点	2.1点	1.8点	1.7点
	寛容性	1.8点	1.8点	1.8点	1.4点	1.4点	1.8点	1.8点	1.6点
	安らぎ感	1.9点	1.2点	1.8点	1.2点	1.2点	1.4点	3.3点	1.6点
	期待感	1.6点	1.3点	1.4点	1.2点	1.1点	1.3点	1.4点	1.4点
主観※2	安心感	2.8点	2.0点	2.4点	1.7点	2.3点	2.1点	2.2点	2.6点
	寛容性	2.4点	2.0点	2.4点	1.9点	1.9点	2.1点	2.9点	2.1点
	安らぎ感	1.8点	1.1点	2.6点	2.0点	1.7点	1.7点	3.4点	2.3点
	期待感	2.2点	1.5点	2.2点	1.7点	1.8点	1.8点	1.9点	1.8点
通行/滞在		93人／56人	35人／10人	19人／0人	2人／6人	18人／10人	20人／0人	18人／7人	16人／0人

※1 活動:調査時に調査エリアで実施されていた活動(アクティビティ) ※2 主観:自身が調査エリアをどのように感じていたか

3. 地域の現況調査・まちあるき（居心地調査）から見えるポイント

班	調査箇所	評価
A班	千葉駅東口駅前広場	・通行者やバス待ちの滞在者も多いことから、安心感の観点で他の場所とより高い評価 ・通行者やバス待ち以外の滞在者はおらず、安らぎ感や期待感は低い評価
	マルシェ通り	・通行者は多いが全体的に各観点の評価が低い ・景色やくつろげる場所としての評価が低く、特に安らぎ感が低い評価
B班	中央公園プロムナード（NTT前）	・山武杉ベンチのなど、木陰の滞留空間があること等で、特に安らぎ感が高い評価 ・複数人での滞在はあまりみられず、期待感（活動）で低い評価
	葎川	・主観・活動ともに全体的に低い評価 ・ゆったりとした滞在や、活動をしている人が見られず、安らぎ感・期待感では低い評価
C班	中央公園プロムナード（塚本ビル前）	・日影がなく、長時間の滞在・くつろぐことが難しいといった評価や、滞在者の活動の様子があまりみられず、安らぎ感・期待感を含め各項目で低い評価
	富士見本通り	・通行者の多さから安心感では、他と比較して高い評価 ・滞在者はみられず、くつろげる場所・活動できる場所としての評価が得られなかった
D班	中央公園	・くつろいでいる人の存在等により、安らぎ感で高い評価 ・多様な使い方ができるといった評価から寛容性の評価も高い
	中央公園プロムナード（国道南側）	・通行がしやすい空間として安らぎ感等の評価が高かった ・緑を感じる、散歩したいといった観点で安らぎ感も他の地点と比較して評価が高い

4. 意見交換（グループワーク）①

各参加者が描く、「ひと中心のまちなか形成」への
期待と将来ありたい姿を想像しよう！

4. 意見交換（グループワーク）の手順・ワーク内容

意見交換結果の
活用方法

ワーク①

ご自身の立場でのエリアの「望ましい姿」と、エリア全体にとっての「望ましい姿」を議論します！

ワーク②-1

中央公園プロムナード及び周辺エリアにおいて、どのような人がどのような生活シーン、活動シーンが起きていることが望ましいか、タイムラインに沿って、アイデアを出します！

ワーク②-2

②-1で挙げた起こってほしい各シーンについて、その前後行動において、エリア内の回遊の視点で、中央公園プロムナードや周辺エリアを利用するシーンがあるか想像します！

発表

各班の成果の発表を聞き、意見交換することで、各エリアの関係性や役割を地図に落とし込みます！（次回も継続）

グラントデザイン改訂
版・ビジョン策定版の
「将来像」に反映

ビジョン策定版の
「将来像」・「取組方針」
の具体化の材料

4. 意見交換（グループワーク）ワーク①

さっそくワーク①に取り組みましょう！

ワーク① 自身の価値とエリア全体の価値の「望ましい姿」を考える！

ひとが中心のまちづくりの推進によるまちの価値が高まることで、**ご自身が受けた「価値」の視点**と、それが**実現するために必要な「エリアの姿(エリアの価値)」の視点**で、まちの将来像を想像してみましょう！

※ご自身の視点：

- ・ご自身にとって、どんなことがあれば、どんなことが起これば、嬉しいですか？

例 自分のお店にたくさんお客さんが来る / エリア内の店主や企業とのつながりができる / 自分のオーナー物件の資産価値があがる 等

※エリア全体の視点：

- ・エリア全体にとって、どんなことがあれば、どんなことが起これば、嬉しいですか？

例 地価が向上している / 歩行者空間が魅力的で、日常的な通行者や滞在者が増える / いろんな店舗を回遊している 等

ワーク① 自身の価値とエリア全体の価値の「望ましい姿」を考える！

第3回 中プロ・デザインラボ

エリア

班

望ましい姿（エリア全体の視点）

地価が上がる

観光客が
たくさん
来る

エリアが
ブランディン
グされている

住みたいと
思う人が
増える

子育てが
しやすい

買い物する人
が周辺から
たくさん来る

望ましい姿（自身にとっての視点）

自分のお店に
たくさんお客
さんが来る

自分の
オーナー物件
の資産価値が
あがる

ワーク① 自身の価値とエリア全体の価値の「望ましい姿」を考える！

今回意見出しを行うエリアの範囲

※下図の範囲はあくまでも目安となります



意見交換の前に. . .

<グループワークにあたって>

- ・進行がスムーズに行われるよう互いに協力しましょう。
- ・多くのことが言いたいときでも、なるべく他の人も参加できるように配慮しましょう。《対話の場です！》
- ・他の人の意見を頭から否定することはせず、いろいろな考えの人がいることを理解しましょう。

4. 意見交換②

将来ありたい姿・具体的なシーンと、
中央公園プロムナードおよびその周辺の
利用シーンを考えよう！

ワーク②-1 属性を考慮した具体的なシーンを考える！

対象エリアにおいて、**起こってほしい利用シーン(生活シーン、活動シーン)**を想像してください。

※各班に置かれている属性カードを参考に、どのような人がその行動をしているシーンなのか、具体的に想像を膨らませてください。



ワーク②-1 具体的な行動シーンを考える！

黄色付箋に、選んだ属性カードの人の“具体的な行動”を記載してください。
青の付箋に、その“背景や思い”があれば記載してください。



ママ友と
ランチ
している

黄色付箋： 具体的な行動を記載！

子育て
しやすい環境
が必要！

ママが楽しく
ゆったり
できる空間

子どもを
連れていても
安心なまち

青色付箋： 黄色付箋の行動を挙げた自身の“背景や思い”を記載！

ワーク②-1 具体的な行動シーンをタイムラインに落としてみる！

選んだ属性カードと、記載した付箋をタイムラインに落とし込みます。その行動が起こるのは、どのような時間帯でしょうか？

ワーク②-1 具体的な行動シーンをタイムラインに落としてみる！

第3回 中プロ・デザインラボ		エリア				班
		朝	昼	夕	夜	
平日		 ママ友と ランチ している 子育て しやすい環境 が必要！ ママが楽しく ゆったり できる空間 子どもを 連れていても 安心なまち				
休日						

ワーク②-2 具体的な行動シーンの前後を考える！

タイムラインを作成した具体的なシーンに登場する人は、その**シーンの行動の前後に、どのような行動をしているか**想像してください。

中央公園プロムナードを通り、周辺の各エリアに立ち寄ることが想像されれば、その行動を記載してください。

※オレンジ色の付箋に、具体的なシーンの前後の行動を想像し、特に、中央公園プロムナードや周辺エリアに関連するものを記載してください。

※緑色の付箋に、その行動を行うときに、中央公園プロムナードや周辺エリアに必要な機能や設えを記載してください。

駅前のセンシティに寄って
買い物する

駅から中央公園
プロムナードを
通って歩いてくる

授乳室やおむつ
替えの部屋
がある

車が入ってこ
ないベビー
カーを押しやすい
道路



ママ友と
ランチ
している

千葉市中央公園
に寄って
子どもを
遊ばせる

小さい子ども
が遊べる遊具
がある

ワーク②-2 前後の行動シーンをタイムラインに落としてみる！

ワークで作成したタイムラインに前後の行動を落とし込みましょう！

ワーク②-2 前後の行動シーンをタイムラインに落としてみる！

第3回 中プロ・デザインラボ		エリア				班
		朝	昼	夕	夜	
平日		駅前のセンシティに寄って買い物する	車が入ってこないベビーカーを押しやすい道路		ママ友とランチしている	千葉市中央公園に寄って子どもを遊ばせる
		駅から中央公園プロムナードを歩いてくる	授乳室やおむつ替えの部屋がある	子育てしやすい環境が必要！	ママが楽しくゆったりできる空間	子どもを連れていても安心なまち
休日						

ワーク②に移りましょう！

各班の代表の方が、成果を発表してください！

【発表時間：各班 3 分】

ご案内：第4回中プロ・デザインラボ

日程：令和7年10月14日(火)夕方

場所：千葉市商工会議所14階第1ホール

第3回(本日)

皆さん思い描く、「ひと中心のまちなか形成」への期待と中央公園プロムナード及び
その他周辺エリアの将来イメージ・利用シーンを考える！



第4回(次回)

第3回までの意見交換成果を踏まえ作成した中プロ将来像(皆さんが思い描く期待)を
目標に対して、現在のまちの状況や活動・取組み、今来ている人とのギャップ(解決す
べきツボ・課題)を抽出し、解決策を考える

ご案内：デジタルプラットフォーム



中央公園プロムナード の将来像を考えよう！

中プロ・デザインラボって？

千葉市のメインストリートである、中央公園プロムナード（通称：中プロ）。

いま、千葉駅周辺を「ひとが中心で居心地よく歩きたくなる空間（＝ウォーカブルなまちづくり）」に再編する取り組みが進んでいます。

「中プロ・デザインラボ」は、その再編にあたり、市民・事業者・大学・行政などが集まり、ともに考え、意見を交わす場としてできました！

「中プロ・デザインラボ」を皆さんと進める、特設サイトが誕生！

＼こちらからアクセス！／



デザインラボで
考える、中プロの未来
を知りたい！

他の人の意見を知り、
あなたの考え、
アイデアも伝えたい！



プロジェクトを「フォロー」すると、継続的にお知らせが届きます！
（※「my groove」への会員登録が必要です。最短1分で完了）

「中プロ・デザインラボ | 中央公園プロムナード の将来像を考えよう！」の参加方法

1 プロジェクトをフォローする



このQRコードをフォローしませんか？
フォローすると最新情報を受け取れます。活動に参加することもできます。
プロジェクトのページを
開いて、「フォローする」
をクリック！

3 認証メールを確認する ※メールアドレスで登録した場合

登録したメールアドレス宛に認証メールが届きます。
メール受信アプリでご確認ください。

2 まだmy groove会員ではない 方は、「新規登録」が必要です

新規登録はSNSアカウントでも可能です。
（※勝手にSNSへ投稿される、プロフィールが公開される、ということはありません。ご安心ください。）

メールアドレス

メールアドレス

パスワード

パスワード

半角英字・数字を1文字以上含む、8文字以上で登録してください

☐ 利用規約に同意します

☐ プライバシーポリシーに同意します

メールアドレスで登録してください

SNS以外に
・メールアドレス
・パスワード
でも登録できます

利用規約とプライバシー
ポリシーに同意し
て登録してください

4 必要な情報を登録する

皆さんが安心して参加いただく上で必要最低限の情報を入力いただきます。

あなたについて

表示名

なぜ表示名が必要なの？

ふ

氏名

なぜ氏名が必要なの？

姓

名

居住エリア(郵便番号)

000

0000

生れた年

1980

性別

回答しない

なぜ居住エリアが必要なの？

なぜ生れた年が必要なの？

なぜ性別が必要なの？

“表示名”はニックネーム
がおすすめ！

※“表示名”以外は
外部公開されません

5 プロジェクトへ参加しましょう！

プロジェクト画面で気になる記事を読んだり、あなたの意見をコメントしたり、メールでお知らせを受け取ることができます！まずはお気軽にご参加ください！

ご案内：R7年度中央公園プロムナード社会実験



開催時間
2025.10.24(fri)-26(sun)
荒天中止
24(fri) 11:00~20:00
25(sat)/26(sun) 11:00~17:00

内容
主催：千葉市
問い合わせ先：千葉市 都市計画課
<https://www.city.chiba.jp/toshi/to-shi/keikaku/chupro3days7.html>
千葉市 HP にて
随時更新予定です



社会実験の参加者を募集しています。

対象者

- 千葉市に在住または通勤・通学をしている方
- 千葉市を拠点に事業を展開している企業・店舗

参加イメージ

- 趣味で作成したものを販売してみたい
- 体験型ワークショップを開催してみたい など

選べる参加タイプ

右記の2タイプ（Aタイプ or Bタイプ）のどちらか1つを選択してください。

参加要件 / お申込みはこちら



9.26 (fri)
申込締切

URL: <https://forms.gle/jh5C56zTggCyhQ6>
ご不明点に際しても、上記 QR コード先の応募フォームよりお問い合わせください。

Aタイプ

使用可能什器について
TINY STAND: 0.9m×1.5m
※什器は運営側が準備します。

活用例としてはこちら！

- ・ハンドメイド雑貨の販売
- ・似顔絵 / イラストの作成
- ・3日間限定のポップアップストア
- ・特産品 / ドリンクの試食
- ・観光 / イベント等の情報発信



参加時のイメージ

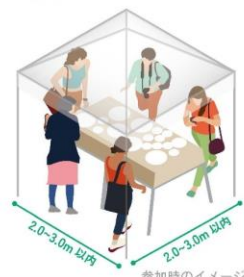
OR

Bタイプ

使用可能什器について
什器はご自身の確保と
設置をお願いいたします。
1エリアにつき 2.0~3.0m
四方以内となります。

活用例としてはこちら！

- ・複数の個人クリエイターによる販売 / 展示
- ・体験型ワークショップ
- ・飲食店による3日間限定の出張販売
- ・事業内容の情報発信



参加時のイメージ

社会実験の参加者を募集します！

社会実験の日程：

令和7年10月24日(金)～26日(日)

ご案内：ヨシカワ・リバーアクション

ワークショップ参加者募集

皆で葭川の未来を考えよう！



ご応募はこちらから！



ヨシカワ・リバーアクション2025

都川公園に集合！
9月6日(土)
9時～12時
① まち歩きワークショップ



千葉市の中心を流れる 葭川 の水辺空間を舞台に、市民参加型の公共空間再生手法を検証するワークショップを開催します。葭川沿道の「回遊性」と「滞留性」を高めながら、にぎわいと環境意識の双方を向上させる計画を、参加者の皆さんと一緒に考えます。ワークショップで抽出されたアイデアは、千葉大学の学生が空間提案に落とし込み、最終発表でお披露目する予定です。

回	日時(2025年)	会場	内容
1	9月6日(土) 9:00-12:00	都川公園等	まち歩き・居心地調査 → 資源・課題マッピング
2	9月21日(日) 10:00-12:00	千葉商工会議所 12階	ゾーン別にまちづくりのアイデアを検討
3	10月28日(火) 12:50-16:00	千葉大学	千葉大生による中間提案発表・意見交換
4	12月13日(土)〔予定〕	千葉市役所〔予定〕	千葉大生による最終提案発表・来年度に向けたアクション抽出
	12月中旬～下旬〔予定〕	千葉市役所〔予定〕	パネル・模型による成果展示

募集要項 定員:30名(先着順) 締切:8月31日(日) 参加費:無料
対象:葭川の再生やまちづくりに関心のある市民・学生・事業者 等
申込方法:右上の QR コードから Google フォームに必要事項をご入力ください。

お問い合わせ ヨシカワ・リバーアクション2025 実行委員会(千葉大学 都市計画松浦研究室 内)
E-mail:matsuura@chiba-u.jp / Tel:043-290-3086
協力:千葉市・千葉市中心市街地まちづくり協議会・JIA千葉

ワークショップ参加者を募集します！

日時:令和7年9月6日(土)

9:00～12:00

第3回中プロ・デザインラボ参加者アンケート

基本属性

Q1 参加された方のご年齢をお答え下さい。(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

Q2 お住まいをお答え下さい。(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. 中央公園ブロムナードから徒歩15分以内 2. 徒歩15分超の千葉市内 3. 千葉市外(千葉県内) 4. 千葉県外

Q3 あなたのご職業をお答え下さい。(当てはまるもの1つに○をつけてください。)

1. 自営の商工サービス業 2. 農林水産業 3. 会社員 4. 公務員、団体職員 5. パート・アルバイト
6. 学生 7. 専業主婦(主夫) 8. 年金生活 9. 無職 10. その他 ()

ブロムナードとの関係

Q4 どこで中プロ・デザインラボを知りましたか?(当てはまるもの全てに○をつけて下さい。)

1. 市の広報 2. 千葉市公式ウェブサイト 3. 知人から 4. SNS 5. その他 ()

Q5 中央公園ブロムナードの利用頻度についてお答え下さい。(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. 毎日 2. 週に3~4回程度 3. 週に1~2回程度 4. 月に1回程度 5. ほとんど利用しない

Q6 参加したきっかけについてお答え下さい。(当てはまるもの全てに○をつけて下さい。)

1. 中央公園ブロムナード周辺をよく利用するから 2. 中央公園ブロムナード周辺で働いているから
3. 中央公園ブロムナード周辺に住んでいるから 4. 楽しそうだったから 5. 知り合いに誘われたから

中プロデザインラボの評価

Q7 中プロ・デザインラボの満足度はどうでしたか?(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. とても満足 2. 満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

Q8 中プロ・デザインラボの雰囲気はどうでしたか?(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. とても良い 2. 良い 3. どちらでもない 4. やや悪い 5. 悪い

Q9 中プロ・デザインラボの進行の仕方はどうでしたか?(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. とても良い 2. 良い 3. どちらでもない 4. やや悪い 5. 悪い

Q10 グループワークを通して参加者の意見は十分にまとまったと思いますか?(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらでもない 4. ややそう思わない 5. そう思わない

今後への意向

Q11 次回も中プロ・デザインラボに参加したいですか?(当てはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. とても参加したい 2. 参加したい 3. どちらでもない 4. やや参加したくない 5. 参加したくない

◎今後の中プロ・デザインラボへの期待や希望、分からないこと等ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

END